

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属:志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127



双方向の情報交流

市議会本会議採決のハイライト (議長裁決、1 票差否決)

今期の議会では、左記の電子採決が取り入れられました。各議員の賛否が分り、その記録もいつでも確認することができます。注目すべき採決結果が出ました。

議員提出議案第 18 号「大飯原発 3, 4 号機の稼働停止を求める意見書」は、賛否が何れも 17 票で、可否同数のために議長「裁決」となりました。議長は口頭で意見書に反対する「裁決」を行い、意見書は否決となりました。私自身は、この種の請願や意見書にはこれまで反対しており、今回も反対しました。

福島原発事故による放射線被曝の測定調査や除染対策を集中して行うべきであり、他の原発の運転を止める方法では、現下の放射能汚染の問題解決にはならないと考えているためです。

議員提出議案第 20 号「河野談話の見直しを求める意見書」は、17×16 という 1 票差で否決となりました。1 名の退席者が出ました。私は、意見書に反対の立場でした。採決では、提案の意見書は賛成少数で、否決となりました。この議案はいわゆる従軍慰安婦問題に関するものであり、その趣旨を見ると、政府が対外的に行った歴史的総括を、大きく変更して結果的にそれを全否定する内容だと思いました。その内容に関して、学術的にその批判を行うことはあっても、政治の判断で当時の政府や軍隊に責任がないと政府の見解を変更するのでは、日本全体が諸外国の不信を買う事態が起きてくるのではないのでしょうか。私にはついていけませんでした。

本会議が電子式採決に

町田市議会の定例会は今期議会より新庁舎の新議場で行われ、採決は電子採決となっています。従来、町田市議会は、採決において議長が賛成者に起立を求め、その人数を目視で瞬間的に数えていました。ただし、それでは各議員の賛否が不明であり、また、議長が賛否の数を一瞬にして判断することは正確性を欠くものでした。そこで、電子採決によって、賛否数が瞬時に表示できるようにする、あるいは各議員個々の賛否結果を、議案毎に記録する方式に変更したものです。

この電子採決の採用によって、各議員がどの議案に賛成したか、あるいは反対したか、映像で確認ができ、ペーパーの「市議会だより」では、表の形式で一覧できるようになりました。どうぞ、インターネットや議会便りでご確認下さい。



*他の自治体の中には、各議員の賛否を事前に事務局がヒアリングしている議会や、後でその賛否を後で聞き取りする例もあります。町田市は、個別の議員に賛否のヒアリングをする慣習がありません。あくまで、その場で判断するし、委員会と本会議では、討論が終了後に賛否者が変化する例もあります。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E 103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生と国会へ

議員の活動に終日同行

(以下はインターン生のレポートの抄文です)

この日はまず町田市議会の志政クラブの部屋で、吉田議員のレポートの校正をしました。吉田議員は隔週でレポートを発行し、町田市内の駅前配布をしています。私たちインターン生の文章も掲載していただいています。この日は 1000 枚を印刷しました。受け取る人に分かりやすいよう、毎回紙の色は変えているのだそうです。今まで制作から印刷まで、ご自分で全て行っているとは思っていませんでした。毎回欠かさずに作業をすることはとても大変なことです。

午後は町田市立総合体育館でフットサルの観戦をしました。吉田議員はインターン生とスポーツ観戦をするのは昨年高校野球予選ぶり、フットサルは初めてだそうです。私はフットサルを生で見ること自体初めてでした。バスケットボールのようにめまぐるしく試合が展開し、前半と後半 40 分あっという間でした。観戦客は 1000 人ほどでしたが、チアリーディングのダンス、サポーターの応援などもあり、盛り上がっていました。写真は、西山美術館の入口で撮影したものです。



(第 30 期研修生 矢島見依子 成城大学 3 年)

本会議の議員質問を傍聴

(以下はインターン生のレポートの抄文です)

町田市の新市庁舎で本会議を傍聴しました。傍聴席はとても綺麗で、前の方の座席には簡単な机も付いていました。一人の持ち時間は、市長や行政職員の受け答えの時間も含めて 60 分で、その時間内でしたら何回も質問していいみたいでした。質問の仕方は本当に人それぞれでした。TV の国会討論のように、勢いよく質問している方もいれば、穏やかに質問している方もいました。もう一つ印象に残ったこととして、議会で取り上げられる質問は本当に多岐に渡っているということでした。尖閣問題のような大きな問題が質問されることもあれば、新市庁舎の時計や椅子の配置に対する質問もなされていました。

先日引き続き町田市定例本会議の一般質問を傍聴しました。議会の専門用語の一つとして「検討」と「研究」があります。どうやら「検討」は「研究」より上位の言葉であるみたいで、議員の方の質問や要請に対して、行政職員の方が「検討する」というのは「研究する」よりそれについて深く取り組むことを指すようです。

議会傍聴にはやはり若い人は平日の昼間だけあっていないのですが、学生であるうちに一度くらい議会傍聴をしておくとしがどのように回っているかイメージがしやすいように思えます。ここで議員の方が質問、要請することは市民の暮らしに直接関わるようなものが多いと感じたからです。この日は市民医療や保育料、放射線の測定といったことを議員の方が質問していました。

(第 30 期研修生 吉原弘晃 東京大学大学院修士 1 年)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail : yoshidaben@gmail.com